



11月は児童虐待防止推進月間 「もしかして」あなたが救う 小さな手

●お問い合わせ／市子育て支援課家庭支援係 ☎26-5734

虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときは児童相談所や市へ連絡してください。子どもを守るための大きな一歩です。

子どもへの虐待とは

児童虐待とは、親や親に代わる保護者などが子どもの身体や心を傷つけることをいいます。

●虐待の種類

【**身体的虐待**】殴る、蹴る、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせるなど

【**ネグレクト**】家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かないなど

【**心理的虐待**】言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるうなど

【**性的虐待**】子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど

●こんなことも虐待です

保護者以外の同居人が子どもに暴力を振るっているのをお父さんやお母さんが知っていて、そのままにしているのも虐待です。

しつけと虐待

しつけと称して体罰を正当化していませんか。暴力は歯止めがきかなくなってエスカレートしていく危険性があり、ときに子どもの命にかかわる事故につながる可能性があります。保護者にとってはしつけのつもりでも、子どもにとって有害であれば、それは虐待です。

困ったときは、まず相談を

子どものしつけ、発育・発達、近所から聞こえる泣き声など、子育てに関する悩みや不安を一人で抱えず、相談してください。

●児童虐待や育児に関する相談窓口(子育て支援課)

連絡先	場所	電話	受付時間
子育て支援課	市役所1階	26-5734	月曜～金曜日の 8:30～17:15
家庭児童相談室		24-0981	◆夜間、休日は市役所宿直室 ☎22-5111
交流ひろば	中町三丁目	26-5613	12/29～1/3以外 無休 9:00～17:00
酒田子育て支援センター	松陵保育園内	33-2444	月曜～金曜日の 8:30～17:15 土曜日 8:30～12:00
八幡子育て支援センター	八幡保育園内	28-8032	
平田子育て支援センター	平田保育園内	61-7228	月曜～金曜日の 9:00～16:00
松山子育て支援センター	松山保育園内	61-4821	

本市の取り組み

虐待を受けている子どもの早期発見、保護者への子育て支援を行うため、本市では「要保護児童対策地域協議会」を設置し関係機関が連携して対応しています。

●里親を募集しています

さまざまな事情で親と生活できない子どもたちが増えています。その子どもたちを家庭に迎え入れ、健やかに育てくれる里親を募集しています。詳しくは、児童相談所または市子育て支援課へ問い合わせてください。

災害廃棄物の処理に関する測定結果について ●お問い合わせ／市環境衛生課管理係 ☎31-0933

市では、平成24年12月28日をもって災害廃棄物の受け入れを終了しましたが、酒田地区広域行政組合最終処分場(埋立地)および周辺地域における放射線量などの測定を継続し、安全性を確認しています。測定結果は下表の通りです。この結果は、市ホームページでも公表しています。

1. 最終処分場における測定結果

(1)地下水、放流水の放射性物質濃度 単位:ベクレル/リットル

月日	試料名	セシウム134	セシウム137	合計	基準値 ^{※1}
10/15	地下水 上流	不検出	不検出	不検出	(セシウム134濃度÷60) + (セシウム137濃度÷90) ≤ 1
	地下水 下流	不検出	不検出	不検出	
	放流水	不検出	不検出	不検出	

(2)空間放射線量率

単位:マイクロシーベルト/時間

測定地点(高さ1.5m)	9/24	9/28	10/5	10/13	10/19	基準値 ^{※1}
敷地境界(4地点)	0.04～0.05	0.04～0.05	0.04～0.05	0.05～0.06	0.04～0.05	0.19以下
バックグラウンド ^{※2}	0.05	0.05	0.05	0.06	0.05	

2. 最終処分場周辺地域における測定結果

空間放射線量率 単位:マイクロシーベルト/時間

測定地点(高さ1.5m)	9/29	10/15	基準値 ^{※1}
大平公会堂	0.05	0.05	0.19以下

※1 基準値/「災害廃棄物等の山形県内への受け入れに関する基本的な考え方」に示されている値

※2 バックグラウンド/自然放射線量を示し、敷地内で災害廃棄物の影響を受けない十分に離れた地点

酒田市合併10周年記念事業

私たちが励ます吉野弘のことば

●お問い合わせ／市社会教育課社会教育係 ☎24-2993

日時／12月20日(日) 午後2時開演(1時30分開場)

場所／公益ホール(飯森山三丁目)

【第一部】

朗読／私が選ぶ吉野弘作品

講演／こころの声を「聴く力」

講師／山根基世氏(アナウンサー・元NHKアナウンス室長・「世界一受けたくなる授業」使いたくなるステキな日本語 先生役など)

【第二部】

インタビュートーク「父、吉野弘像」

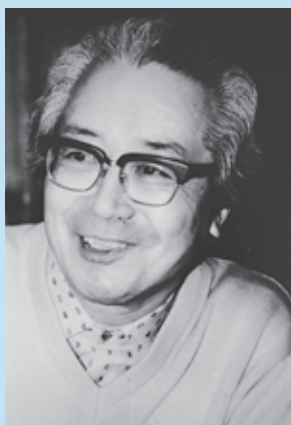
スペシャルゲスト／吉野弘氏の長女 久保田奈々子氏、
次女 梅原万奈氏

インタビュアー／山根基世氏

【参加申込方法(全席自由)】

11月2日(月)～30日(月)(当日消印有効)、往復はがきに住所、氏名、電話番号、希望人数(はがき1枚につき2人まで)を記入し、〒998-0034 酒田市中央西町2-59 酒田市教育委員会社会教育課へ

◆応募多数の場合は抽選。同じ方の複数の応募は無効とします。



吉野弘さん プロフィール

大正15年、山形県酒田市に生まれる。昭和17年、旧制酒田市立商業高等学校卒業。昭和27年「詩學」への投稿を機に詩を書き始める。代表作には、結婚披露宴のスピーチで引用され広く知られる「祝婚歌」をはじめ、国語の教科書にも掲載された「夕焼け」「I was born」「虹の足」などがあり、何気ない人々の暮らしや、自然の移り変わりなどを題材に、豊かな感性で愛と優しさにあふれる詩を書いた。主な詩集に「消息」「幻・方法」「10ワットの太陽」「感傷旅行」「北入曾」「自然渋滞」などがある。平成26年1月に逝去。



山根基世さん プロフィール

昭和23年、山口県生まれ。早稲田大学文学部卒業後、NHKに入局。平成17年、女性として初のアナウンス室長。平成19年、NHK退職。現在は子どもの言葉を育てる活動を続けている。また文字・活字文化推進機構にて「山根基世の朗読指導者養成講座」を開講中。TBSドラマ「半沢直樹」でナレーションを担当。平成12年・放送文化基金賞、平成20年・前島賞(通信協会)、平成21年・徳川夢声市民賞受賞。雑誌「明日の友」のエッセイのなかで「吉野弘さんの〈I was born〉という詩に出会ったときの衝撃は忘れません」と綴り、吉野弘著「詩の楽しみ」を紹介している。